国際観光学部誕生！ 地域に根ざし 世界に羽ばたけ

阪南大学 学長 辰巳浅嗣

取材・文／堀水潤一 撮影／中岡邦夫

【学長プロフィール】1943年生まれ。関西大学法学部卒業。72年同大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。法学博士。阪南大学国際コミュニケーション学部教授、同学部長などを経て09年より現職。日本EU学会理事長。

【大学プロフィール】1965年創立。国際コミュニケーション学部（国際コミュニケーション学科・国際観光学科）、経済学部、流通学部、経営情報学部の4学部5学科体制。2010年、国際観光学部を新設予定。

本学は、「商都大阪の伝統経済の上に立ち（略）近代的経済人の育成をその使命とする」ことを建学の精神とし、また「すすんで世界に雄飛していくに足る有能有為の人材、真の国際商業人の育成」を教育目標として掲げてきました。

こうした理念は今日、キャリア教育の充実（キャリアデザイン・キャリアアップ、起業塾、インターンシップ等）に表れ、「就職に強い大学」としてのイメージも定着しています。

また、地域あるいは世界へと飛びだす積極的なゼミ活動にも結びついているといえます。新今宮における外国人旅行者向けの観光案内所の開設や、タイ政府の協力のもと行われたマングローブの森の植樹活動などはその一例。企業や団体と連携しながら地域社会の課題を考え、その発展に寄与するゼミ活動です。

特に国際観光学科（国際コミュニケーション学部）では早くから、町おこしなどの地域振興や企業との連携に学科をあげてかかわってきました。西日本初の四年制大学の観光学科として注目されてきた同学科は、自治体からの研究委託や政策提言などシンクタンク的な役割も果たしてきました。2010年には国際観光学部へと生まれ変わり、引き続き観光文化だけではなく、観光事業や観光計画の分野にも力点を置いたカリキュラムを充実させます。歴史や文化、政治・経済など深い知識と文化的素養を持つ人材を育てる、就職に直結する実学教育も重視します。

これに伴い国際コミュニケーション学部もカリキュラムを一新。心理学やメディア科目を補強するうえ、英語教員免許取得も可能とします。そのために語学教育設備が整う新校舎の建設をはじめとするキャンパスの整備を進めています。

同時に流通学部のコースもリニューアルするなど、来るべき創立50周年に向けた改革の動きは加速し、学部教育の本キャンパス一極化なども構想中です。

本学は約5000人が集う中規模大学です。これをメリットととらえ、風通しのいい大学運営、face to faceの教育を目指します。少人数ゼミで教員とともに地域に出て、意欲的な活動を行う学生の満足度は非常に高く、傍から見ていても頼もしい限りです。ビジネスコンテストの上位入賞者からオリンピック出場選手まで多彩な能力をもつ学生も多数輩出しています。そうした自信と誇りにあふれる学生を増やし続けることが私の務めだと思っています。